



〒975-0031
 福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
 TEL(0244)26-1315
 FAX(0244)26-1318
 E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

文化財保護活動の支援 文化財パトロール事業（重要無形民俗文化）

- 事業：国指定文化財及び県指定無形民俗文化財総合パトロール事業（2年目）
- 主な対象：県指定重要無形民俗文化財 日吉神社のお浜下りと手踊り（南相馬市 お浜下り保存会）
 県指定重要無形民俗文化財 上手岡麓山神社の火祭り（富岡町 麓山神社氏子総代会）
 県指定重要無形民俗文化財 川内の獅子舞（川内村 川内村三匹獅子舞保存会連合会）
- 実施者：相馬地区文化財保護指導員 山本 富士夫 氏、南相馬市教委担当者
 双葉地区文化財保護指導員 吉田 ちひろ 氏、富岡町教委、川内村教委担当者

【事業の目的】

- 今年度は、国指定文化財及び県指定無形民俗文化財のパトロール事業の2年目でした。東日本大震災・原子力災害から13年が経ち、現在、人と地域をつないできた無形民俗文化財・民俗芸能の継承が喫緊の課題の一つです。文化財パトロール事業では、市町村文化財担当者や保存会へのヒアリング、祭日等の現地視察を通して、対象となる県指定重要無形民俗文化財の保存と活用、管理状況の把握をしています。



【文化財パトロール事業等の報告から】

（1）日吉神社のお浜下りと手踊り

鹿島区江垂の日吉神社で12年に1度、申年の4月に行われる、規模の大きなお浜下りの行事である。神輿を中心とした行列が5kmほど離れた烏崎の浜に下り、道中の建て場や海岸の祭場で、宝財踊、神楽、獅子舞、子供手踊りなどの芸能が披露される。直近では、平成28年4月2日に行事は行われた。12年に1度のことから、行列に供奉する芸能団体は、その都度に組織される。

民俗芸能継承ため、民俗芸能発表会を開催し保存団体の発表の場の提供や地元中学校と共同で総合学習の中で地域の民俗芸能を知る機会を設けて活動の紹介を行い、継承に努めている。

（2）上手岡麓山神社の火祭り

震災で大きな被害を受けた本殿や社務所などを修復し、地元や関係機関の努力のもと、火祭りの神事を復活、さらにコロナ禍による中断を経て今年再開された。

また、町内小中学校の授業で「地元の伝統芸能を知ろう」の時間を設けたり、保護者向けのパンフレットを作成、移住者からも参加者が出るなどの成果は、担い手不足に悩む市町村が参考にすべき事例である。今後、ますます新しい住民も含め、居住人口が増えることが予想されるが、町全体で担い手の確保と育成に、引き続き取り組んでいただければと思う。

（3）川内の獅子舞

震災やコロナ禍の中、4つの地区が欠けることなく獅子舞を奉納されている。

伝統芸能の担い手不足は、どの市町村においても深刻な問題である。その中でも、学校と連携を取ったり地区出身者が大学で先生や学生を巻き込んで継承の一端を担っている例もある。川内村は、小中学校と地域文化伝承教室が同じ建物内で獅子舞の写真の掲示もあり、児童生徒が獅子舞に触れる環境は整っている。

伝統芸能の担い手不足問題を村全体の問題として捉え、獅子舞奉納の周知を村内に広げるなど、村民が一帯となり、歴史ある伝統芸能を絶やさぬ気運を盛り上げてほしいと思う。

